平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名　藤田エンジニアリング株式会社　　上場取引所　大
コード番号　1770　URL　http://www.fujita-eng.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤田　実
問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画経理本部長　(氏名) 泉山　吉郎　TEL 027-361-1111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日　配当支払開始予定日　平成24年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,081	△0.5	△70	―	△55	―	△69	―
24年3月期第2四半期	9,123	5.6	111	―	138	―	△29	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△109百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△81百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△6.23	―
24年3月期第2四半期	△2.64	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	14,553	8,046	55.3	718.64
24年3月期	16,796	8,245	49.1	736.42

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　8,046百万円　24年3月期　8,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	8.00	―	8.00	16.00
25年3月期	―	8.00			
25年3月期(予想)			―	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	3.4	600	4.3	650	5.2	320	109.2	28.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) FUJITA ENGINEERING ASIA PTE. LTD. 、 除外 ―社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	11,700,000 株	24年3月期	11,700,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	502,800 株	24年3月期	502,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	11,197,200 株	24年3月期2Q	11,197,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や生産等の持ち直し傾向が続いたものの、海外経済の減速などから先行き不透明感が強まる中で推移致しました。

当社グループの主力事業の属する国内建設市場におきましては、公共設備投資については堅調に推移しておりますが、民間設備投資については緩やかな持ち直しの兆しが見られるものの先行き不透明感から厳しい市場環境が続いております。

当第２四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、前第２四半期連結累計期間より42百万円減少し90億81百万円（前年同四半期比0.5％の減少）、営業損失は70百万円（前年同四半期は営業利益１億11百万円）、経常損失は55百万円（前年同四半期は経常利益１億38百万円）、四半期純損失は69百万円（前年同四半期は四半期純損失29百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 建設事業

当社グループの主力事業である当事業におきましては、各部門での大型工事の受注等により受注高は72億33百万円（前年同四半期比69.1％の増加）となりました。部門別では、産業設備工事が26億44百万円（前年同四半期比92.3％の増加）、ビル設備工事が19億97百万円（前年同四半期比32.5％の増加）、環境設備工事が25億92百万円（前年同四半期比86.0％の増加）となりました。

売上高は、産業設備工事が前期からの繰越工事が堅調であったものの、ビル設備工事、環境設備工事が減少したため41億40百万円（前年同四半期比5.6％の減少）となりました。部門別では、産業設備工事が22億10百万円（前年同四半期比17.9％の増加）、ビル設備工事が13億45百万円（前年同四半期比4.2％の減少）、環境設備工事が５億84百万円（前年同四半期比47.1％の減少）となりました。

なお、当事業は通常の営業形態として、第４四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きいため、第４四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて高くなる季節的変動があります。

② 機器販売及び情報システム事業

当事業におきましては、情報システム関連は前年並みに推移しましたが、機器販売は空調機、冷凍機、発電機などが増加したことにより、売上高は25億34百万円（前年同四半期比14.5％の増加）となりました。

③ 機器のメンテナンス事業

当事業におきましては、設備機器メンテナンスにつきましては、企業の経費抑制から保守点検等の受注が低調に推移しましたが、太陽光発電機器設置の受注が公的助成金制度の継続等により堅調であり、売上高は24億11百万円（前年同四半期比1.7％の増加）となりました。

④ 電子部品製造事業

当事業におきましては、設備投資抑制により製造工程省力化装置の受注が大きく減少し、デジタル家電向け光デバイスなどの半導体関連部品の受注も低調であったことから、売上高は５億53百万円（前年同四半期比27.6％の減少）となりました。

なお、生産実績（販売価格）は以下のとおりであります。

区分	前第２四半期連結累計期間 （百万円）	当第２四半期連結累計期間 （百万円）
電子部品のペレタイズ加工	338	254
電子部品の組立	162	94
基盤組立他	263	203
合計	764	553

⑤ その他

その他の事業の公共水道施設維持管理事業におきましては、受託業務の増加により売上高は１億37百万円（前年同四半期比14.2％の増加）となりました。

（注）１．上記売上高はセグメント間取引消去前の金額によっております。

２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ22億42百万円減少し145億53百万円となりました。これは主に完成工事未収入金が17億14百万円、現金預金が９億28百万円それぞれ減少し、未成工事支出金が２億22百万円、売掛金が２億１百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ20億43百万円減少し、65億６百万円となりました。これは主に工事未払金が13億95百万円、買掛金が２億５百万円、未払法人税等が１億72百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ１億99百万円減少し80億46百万円となりました。これは主に四半期純損失を69百万円計上し、配当の支払を89百万円行ったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点において、平成24年５月14日に公表の数値から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、新たに設立したFUJITA ENGINEERING ASIA PTE.LTD.を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,860,709	2,931,890
受取手形	759,693	732,276
完成工事未収入金	3,960,687	2,246,542
売掛金	2,289,591	2,491,129
有価証券	100,000	－
未成工事支出金	151,979	374,666
商品	100,623	116,764
仕掛品	346,764	429,647
材料貯蔵品	39,214	30,920
その他	281,002	416,224
貸倒引当金	△4,086	△3,845
流動資産合計	11,886,180	9,766,216
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,199,556	3,207,518
減価償却累計額	△2,004,419	△2,046,227
建物・構築物（純額）	1,195,137	1,161,290
土地	2,293,811	2,293,811
建設仮勘定	－	4,388
その他	683,379	696,636
減価償却累計額	△448,461	△494,790
その他（純額）	234,917	201,845
有形固定資産合計	3,723,866	3,661,336
無形固定資産		
のれん	178,876	163,970
その他	112,922	104,097
無形固定資産合計	291,798	268,067
投資その他の資産		
投資有価証券	519,133	462,110
その他	439,661	455,022
貸倒引当金	△64,486	△59,198
投資その他の資産合計	894,309	857,933
固定資産合計	4,909,974	4,787,337
資産合計	16,796,154	14,553,554

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,494,610	1,517,723
工事未払金	2,217,762	822,142
買掛金	1,448,306	1,243,184
短期借入金	804,996	799,996
未払法人税等	255,746	83,378
未成工事受入金	241,250	124,239
完成工事補償引当金	12,700	12,700
賞与引当金	203,655	144,425
役員賞与引当金	31,500	－
工事損失引当金	10,257	12,628
その他	600,463	523,163
流動負債合計	7,321,249	5,283,580
固定負債		
長期借入金	131,416	113,918
退職給付引当金	811,738	844,041
役員退職慰労引当金	173,930	179,440
その他	112,009	85,790
固定負債合計	1,229,093	1,223,189
負債合計	8,550,342	6,506,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,029,213	1,029,213
資本剰余金	805,932	805,932
利益剰余金	6,590,966	6,431,575
自己株式	△213,872	△213,872
株主資本合計	8,212,239	8,052,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,572	△7,171
為替換算調整勘定	－	1,107
その他の包括利益累計額合計	33,572	△6,064
純資産合計	8,245,811	8,046,783
負債純資産合計	16,796,154	14,553,554

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	9,123,854	9,081,731
売上原価	7,786,352	7,952,622
売上総利益	1,337,501	1,129,109
販売費及び一般管理費		
従業員給料手当	575,895	574,442
賞与引当金繰入額	40,695	42,907
退職給付引当金繰入額	16,808	16,237
役員退職慰労引当金繰入額	4,126	5,510
のれん償却額	14,906	14,906
その他	573,890	545,570
販売費及び一般管理費合計	1,226,323	1,199,574
営業利益又は営業損失（△）	111,178	△70,465
営業外収益		
受取利息	391	1,044
受取配当金	4,260	4,269
受取褒賞金	14,244	9,252
保険配当金	8,231	9,434
その他	17,692	16,973
営業外収益合計	44,819	40,975
営業外費用		
支払利息	5,439	5,071
貸倒引当金繰入額	10,935	19,121
その他	1,386	2,297
営業外費用合計	17,760	26,490
経常利益又は経常損失（△）	138,237	△55,979
特別損失		
役員退職慰労金	188,000	－
特別損失合計	188,000	－
税金等調整前四半期純損失（△）	△49,762	△55,979
法人税、住民税及び事業税	42,872	80,351
法人税等調整額	△63,090	△66,517
法人税等合計	△20,217	13,833
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△29,544	△69,813
四半期純損失（△）	△29,544	△69,813

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△29,544	△69,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,947	△40,744
為替換算調整勘定	－	1,107
その他の包括利益合計	△51,947	△39,637
四半期包括利益	△81,491	△109,450
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,491	△109,450
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。